

# G I G A スクール構想の 取組状況について

令和4年8月29日（月）

教育委員会教育部

# 1 整備状況について

項目	国の指標	整備状況
学習者用コンピュータ	児童生徒1人1台	児童生徒1人1台
指導者用コンピュータ	授業を担当する教員1人1台	県費負担教職員1人1台
大型提示装置	普通教室1台	普通教室1台+ミラキャスト
実物投影機	特別教室用として6台	特別教室用として6台
学校通信ネットワーク	高速大容量の通信ネットワーク 100%	整備済み ※通信容量に課題
統合型校務支援システム	100%配備	未整備
ICT支援員	4校に1人配置	21校に対して2人配置

## その他の整備状況

- ・Wi-Fiルーター160台（Wi-Fi環境のない世帯の児童生徒へ貸与）
- ・指導者用デジタル教科書（算数・数学、外国語、理科）
- ・オンラインドリル（ライズ eライブラリ アドバンス）
- ・授業目的公衆送信補助金制度（サートラス）
- ・フィルタリングソフト（クラウド上でのフィルタリング）
- ・L-Gate（今後の学力テストCBT化に対応した学習ポータル）

※CBT：Computer Based Testing

## 2 学校におけるICT活用場面

文科省「教育の情報化の手引き」より

A 一斉学習	B 個別学習		C 協働学習	
<p>挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。</p>	<p>デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進捗で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。</p>		<p>タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。</p>	
A1 教員による教材の提示	B1 個に応じる学習	B2 調査活動	C1 発表や話し合い	C2 協働での意見整理
				
画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	一人一人の習熟の程度等に応じた学習	インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	グループや学級全体での発表・話し合い	複数の意見・考えを議論して整理
B3 思考を深める学習	B4 表現・制作	B5 家庭学習	C3 協働制作	C4 学校の壁を越えた学習
				
シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	マルチメディアを用いた資料、作品の制作	情報端末の持ち帰りによる家庭学習	グループでの分担、協働による作品の制作	遠隔地や海外の学校等との交流授業

### 3 授業での活用場面

#### (1) A1 教員による教材の提示

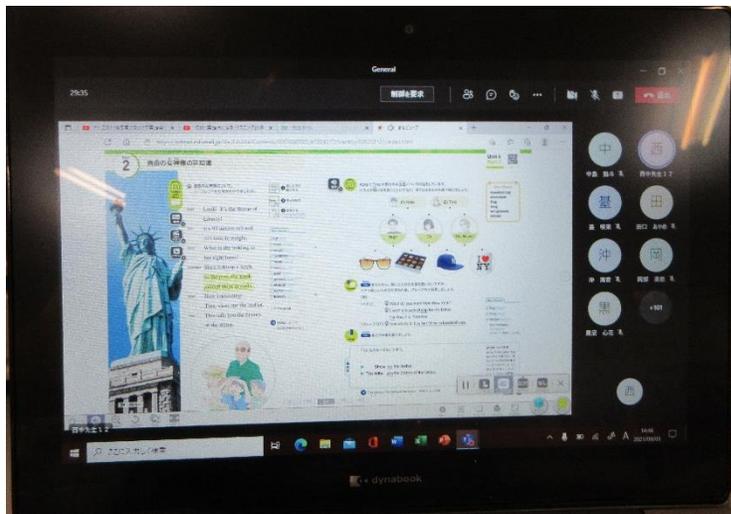


ハードウェア  
タブレット端末、大型提示装置、ミラキャスト（無線による接続）

ソフトウェア  
指導者用デジタル教科書（算数・数学、英語、理科）



指導者用デジタル教科書を  
活用した問題の提示



オンライン授業での生徒の画面  
（デジタル教科書）



カメラ機能を使った演示

## (2) B1 個に応じる学習

## B2 調査活動

B1 個に応じる学習



B2 調査活動



ハードウェア  
タブレット端末

ソフトウェア等  
デジタルドリル（ラインズeライブラリ）、QRコード読み取り機能



デジタルドリルの応用問題  
への取組



理科の授業での調べ学習



図工の授業による個別課題への取組

(3) B3 思考を深める学習

B4 表現・制作

B5 家庭学習

B3 思考を深める学習



B4 表現・制作



B5 家庭学習



ハードウェア  
タブレット端末

ソフトウェア  
デジタルドリル（ラインズeライブラリ）  
Word、PowerPoint、カメラ等



録画機能を使った技能の習得



観察日記の作成

思考を深めるためのシュミレーション  
などのデジタル教材についての検討や  
家庭学習でのデジタルドリル以外での  
活用について今後の課題である。

## (4) C1 発表や話し合い

### C1 発表や話し合い



ハードウェア  
タブレット端末、大型提示装置、ミラキャスト（無線による接続）

ソフトウェア  
PowerPoint、カメラOneNote 等



小グループによる話し合い



調べた結果の発表



子供のノートを撮影し、それを活用した教師のまとめ

(5) C2 協働での意見整理

C3 協働制作

C4 学校の壁を超えた学習



ハードウェア  
タブレット端末、大型提示装置、ミラキャスト

ソフトウェア  
PowerPoint、Word、Excel等



グループによる課題解決



オンラインによる職場見学



オンライン学習

## (6) その他の場面



ICT支援員による授業支援



上級生による教え合い



授業配信設備  
(タブレット、タブレットスタンド、  
大型提示装置)



授業参観への活用



集会等、学校行事への活用

## 4 成果と課題

### 成果

- ・オンライン授業について市内全校で実施できる体制が整えられ、実践できている。
- ・児童生徒の興味関心を高めるための課題や資料提示での活用が定着しつつある。

### 課題

(1) 学習者用デジタル教科書の普及や全国学力学習状況調査のオンライン化に向けた通信環境整備

対応：通信容量の大きい接続サービスへの変更

(2) タブレット端末等を活用した個別最適な学びと主体的な学びを実現するさらなる工夫改善

対応：ICT支援員と連携した活用支援、指導主事等の学校訪問での指導、助言  
活用頻度の高い学校の実践の共有

(3) 家庭学習での活用や有効なソフトウェアについての検討

対応：教科の特性に応じたアプリの検討と予算の確保